

## 研究に関する情報公開

福島県立医科大学整形外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年9月 福島県立医科大学整形外科学講座 草野 敬悟  
福島県立医科大学 理事長 竹之下 誠一

### 【研究課題名】

人工股関節全置換術（THA）後の疼痛管理についての研究  
-カクテル注射投与部位による違い-

### 【研究期間】

2022年9月から2024年8月

### 【研究の意義・目的】

THA後の術後疼痛の抑制方法であるカクテル注射法として、関節内注射もしくは関節周囲筋群への投与方法が存在します。当院でもこれまで両者が混在して投与されてきております。これら2つの投与方法により術後疼痛レベルに差が生じるかどうか明らかにすることにより、術後疼痛をより緩和するための投与方法が明らかとなる可能性があります。

### 【研究の対象となる方】

当院で2021年5月1日から2022年4月30日までに福島県立医科大学附属病院でTHAを受けた変形性股関節症の患者さんです。  
ただし、関節リウマチなどの炎症性疾患に起因する変形性股関節症の方、大腿骨頭壊死を起こしている方、股関節脱臼の程度が重い変形性股関節症の方、術中や術後にフェンタニルやトラマドール等の術後疼痛に影響を与える薬剤を投与された方は除きます。

### 【研究の方法】

上記対象者の、以下の診療情報を福島県立医科大学付属病院のカルテから利用致します。

（試料・情報の種類）年齢、性別、疾患名、手術アプローチ方法、術後の疼痛レベル（Numerical Rating Scale (NRS)）、術後内服薬、術後疼痛レスキューの使用回数、麻酔方法。

（試料・情報の利用方法）既存のカルテデータから情報を収集する。カクテルを関節内注射した場合と関節周囲へ注射した場合で、それぞれ術翌日までのNRS（カルテデータに記録あり）を確認する。カクテル関節内投与群と関節周囲投与群での術後NRSの差を比較する。

### 【研究組織】

研究責任者 （所属） 整形外科学講座（氏名）草野 敬悟  
研究分担者 （所属） 整形外科学講座（氏名）新田 夢鷹

### 【他の機関等への試料等の提供について】

該当せず

### 【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学整形外科学講座 担当 草野敬悟  
電話:024-547-1111 FAX: 024-547-1998  
E-mail:kkusano@fmu.ac.jp

**【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学整形外科学講座 担当 草野敬悟  
電話:024-547-1111 FAX: 024-547-1998  
E-mail:kkusano@fmu.ac.jp